

2020年度後期 講義概要

授業科目名	精神系
主担当教員名	尾関 祐二
配当学年 等	3
学習目標	<p>精神疾患は5大疾病の一つと認定され、患者数も非常に多い疾患と知られる。実際、臨床現場では、診療科に関わらず関わることが多いが、医学生から「理解するのが難しい」「とっつきにくい」とされることも多い領域となっていることが多い。</p> <p>これは精神医学が、他の診療科とは違い、心理学や神経科学などの幅広い分野を基礎としており、さらに、その知見の応用として臨床をするためであろう。本集中講義では最新知識や概念を紹介しつつ、感覚的に理解できるように工夫した授業を行う予定で、クリニカルクラークシップに耐えうる十分な知識を習得することを到達目標としている。</p> <p>【精神医学の歴史】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 精神医学の歴史について概説できる。 2) 古典的診断から操作的診断基準までの歴史、そしてDSM診断の変遷を説明できる。 <p>【精神科の基礎】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 思考・知覚・感情・記憶などの脳機能と精神症状との関連を説明できる。 2) MRI・SPECTなどの脳機能画像や脳波などの生理学的検査法を列挙できる。 3) 生化学的・内分泌学的検査法と診断への応用を説明できる。 4) 患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。 5) 認知行動療法、対人関係療法などについて説明できる。 6) 精神科薬物療法について、その作用と副作用を列挙できる。 7) 心理学的検査法の種類と概要を説明できる。 <p>【様々な精神疾患】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 統合失調症の症候と診断、救急治療を説明できる。 2) うつ病の診断と治療について説明できる。 3) 双極性の分類、診断、治療について概説できる。 4) 不安を呈する疾患に関して、機序、診断、治療の観点から概説できる。 5) 様々な身体症状を呈する疾患を機序、診断、治療の観点から説明できる。 6) 心的外傷後ストレス障害などのストレス関連障害について、機序、診断、治療の観点から説明できる。 7) アルコールや薬物依存と乱用について、依存形成とその治療を概説できる。 8) 児童・青年期の精神医学の特性を説明できる。 9) 身体症状症及び、摂食障害群の症候と診断を説明できる。 10) 人格評価の歴史（古典的分類）とDSM-5でのパーソナリティ障害を説明できる。 11) 成人てんかんの病態と随伴する精神障害、およびその鑑別診断を概説できる。 12) 加齢に伴う心身の変化と老年期に陥りやすい精神疾患を理解できる。 13) 様々な認知症の診断と治療を説明できる。 14) 様々な睡眠障害の診断や治療を理解できる。 15) 睡眠と身体疾患との関連性に関して概説する。 16) 症状精神病の概念と診断を概説できる。 17) 知的能力障害群と自閉症スペクトラム障害などの発達障害を概説できる。 <p>【精神医学と社会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自殺問題とその対策について概説できる。 2) 産業現場のメンタルヘルス対応を説明できる。 3) 緩和医療の重要性について理解できる。 4) コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。 5) 各国の精神医学について概説し、その治療・制度面の特徴を列挙できる。 6) 精神保健福祉法について概説できる。 7) 災害派遣精神医療チームの活動・意義について説明できる。 8) 心神喪失者医療観察法を中心に、犯罪精神医学と司法との関係について概説できる。 <p>【最近のトピック】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 神経科学と精神医学の結びつきを概観する。
授業概要	<p>精神症状の評価法や診断過程では、患者の表出・医師の判断といった主観を含む、多種多様な要素を含む。このため「客観性をいかに持ち込むか」ということがもはや歴史的課題とあってよい。神経科学の発展していなかった時代には、心理学などの人文科学的な見地に立った精神機能研究がヤスバースやプロイラーらによって一応の完成を見た。それらの功績は、未だに現代の精神医学用語や概念に大きな影響を与え続けていることから明らかである。さらに、1960年代に始まった薬物治療は、神経科学分野（神経生理学、薬理学、画像診断）の発展に繋がり、科学的に大きな発展をえた。しかしながら、未だ精神疾患の完全理解・治療の完成などは、未だ道半ばである。さらに社会の発展に伴い、精神科の学問的裾野が広がり、精神疾患の概念は次第に容容してきている。講義では、DSM診断体系の考え方による診断、病的心理状態の概念の理解、治療・ケア・療育といった医師の立場で遭遇する場面を想定した広範囲の知識をあまさず授業で取り上げる。</p>
授業内容	<p>精神障害では、疾患概念の明確な身体疾患ではあまり疑問に思うことがない、診断とは何かということから学ぶ必要がある。複眼的な診立て、操作的な診断方法を学びながら、治療においては、心理的（精神病理学など）、社会的（人間関係、精神力動など）、神経科学的（身体・脳機能・薬理）な面を総合的に判断して方針を立てる方法を学ぶ。</p>

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	課題有・無	授業形式(原則、対面。)
令和 2年11月30日(月)	4 時限	尾関 祐二	精神医学総論	精神医学の講義概要：この系統講義（計25回）の構成とねらいについて。精神医学歴史の変遷についても概説する。		対面予定
令和 2年12月01日(火)	1 時限	藤井 久彌子	産業現場のメンタルヘルス	自殺の増加もあり、産業医学における精神医学的知識は重要になってきている。ここでは、産業現場のメンタルヘルスに関して学習する。		対面予定
令和 2年12月01日(火)	2 時限	藤井 久彌子	神経症	不安を呈する疾患に関して、機序、診断、治療の観点から概説する。		対面予定
令和 2年12月01日(火)	3 時限	眞田 陸	摂食障害と身体症状症	摂食障害の精神病理と治療的アプローチを学ぶ。		対面予定
令和 2年12月01日(火)	4 時限	眞田 陸	児童・思春期精神医学	児童思春期の問題行動の原因を探る。		対面予定
令和 2年12月02日(水)	1 時限	宮川 正治	認知症と類縁疾患I	加齢に伴う心身の変化と老年期に陥りやすい精神疾患を、認知症を中心に概観する。		
令和 2年12月02日(水)	2 時限	角 幸頼	脳器質性・症候性精神障害	身体疾患から生じる精神症状について、診断・鑑別などを概説する。		対面予定
令和 2年12月02日(水)	3 時限	上西 祐輝	心理学的検査法・精神科治療学 I（非薬物療法）	心理的治療法である認知行動療法、対人関係療法などを学習する。		対面予定
令和 2年12月02日(水)	4 時限	吉村 篤	精神科症候学	精神科診療での面接の基本について学び、意識・思考・知覚・感情・記憶などの要素に分けて精神症状の捉え方や記述方法を概説する。		対面予定
令和 2年12月02日(水)	5 時限	吉村 篤	自殺問題／各国の精神科医療	我が国の自殺問題について文化的な背景などを踏まえ、その対策や課題について精神科医療を中心に多面的な視点から考える。また、諸外国の精神科医療の現状についても概説する。		対面予定
令和 2年12月03日(木)	1 時限	上西 祐輝	パーソナリティ障害	人格評価の歴史（古典的分類）とDSM-5でのパーソナリティ障害について。		対面予定
令和 2年12月03日(木)	2 時限	藤井 彰夫	リエゾン精神医学	精神科と一般診療科との連携により可能な、全人的治療の実態を紹介する。		対面予定
令和 2年12月03日(木)	3 時限	高橋 三郎	精神科診断学／認知症II	古典的診断から操作的診断基準までの歴史を踏まえつつ、DSM診断がどのようにして生まれ変化してきたかについて、またDSMからICD11への変遷についても概説する。また近年の高齢者医療について心的外傷後ストレス障害についての概念、診断、治療について学習する。さらに自然災害・航空機・列車事故などの集団災害が発生した場合に必要な精神医療について、災害派遣精神医療チームの活動		対面予定
令和 2年12月03日(木)	4 時限	栗山 健一	心的外傷後ストレス障害／災害精神医療			Online予定
令和 2年12月03日(木)	5 時限	石田 展弥	司法精神医学／精神保健福祉法	精神保健福祉法や心神喪失者医療観察法を中心に、犯罪精神医学と司法との関係について学ぶ。		対面予定
令和 2年12月04日(金)	1 時限	松尾 雅博	生物学的精神障害	神経科学と精神医学の結びつきを概観し、最近のトピックについて知る。		対面予定
令和 2年12月04日(金)	2 時限	角谷 寛	睡眠障害	様々な睡眠障害の診断や治療、及び身体疾患との関連性に関して概説する。		対面予定
令和 2年12月04日(金)	3 時限	尾関 祐二	統合失調症I	統合失調症の診断と治療について。		対面予定
令和 2年12月04日(金)	4 時限	尾関 祐二	統合失調症II	統合失調症の類縁疾患の鑑別診断と病因論など。		対面予定
令和 2年12月07日(月)	1 時限	山田 尚登	気分障害 I	気分障害の診断、特に単極性の治療について概説する。		対面予定
令和 2年12月07日(月)	2 時限	山田 尚登	気分障害 II	気分障害の中でも双極性障害について、生体リズム・睡眠との関係を含めた生物学的な成因について概説する。		対面予定
令和 2年12月08日(火)	1 時限	森田 幸代	精神腫瘍学と緩和医療	精神腫瘍学について概説し、緩和医療の実践に向けて必要な知識を習得する。		対面予定
令和 2年12月08日(火)	2 時限	森田 幸代	精神科治療学 II（非薬物療法）	精神医療で必要とされる薬物療法とその薬理学について概観する。		対面予定
令和 2年12月08日(火)	3 時限	松尾 雅博	成人てんかんと、精神症状	成人てんかんの病態と随伴する精神障害、およびその鑑別診断について説明する。		対面予定
令和 2年12月08日(火)	4 時限	青木 治亮	薬物・アルコール依存・行動嗜癖	アルコールを代表とする薬物依存と乱用について。依存形成とその治療の実際。		対面予定
令和 2年12月24日(木)	4 時限		試験			
令和 3年02月17日(水)	2 時限		再試験			
授業形式・視聴覚機器の利用	パワーポイントと配布資料を用いる。					
評価方法	【精神系】講義終了後の試験によって判定します。					
教科書・参考文献	【精神医学】 ・標準精神医学（医学書院） ・大熊輝雄：現代臨床精神医学（金原出版）					
学生へのメッセージ	社会情勢によって、講義の順番・方法に変更が生じる場合があります。					